

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	ストレngth&コンディショニング演習 Seminar of Strength & Conditioning	担当教員	金崎泰英		
領域水準コード	E3,F3	単位数	2	履修方法	選択必修
授業の方法					
講義					
授業の概要					
スポーツの現場においては、ストレngth&コンディショニングにおけるトレーニングそのものが目的ではなく、その先にあるパフォーマンスへの有効的な結びつきが必要となる。また、プロのコーチとして活動する場合、チームスポーツであれば、「選手」「チーム」「雇い主」などといった各立場を念頭に置く必要がある。これら全ての立場の中でバランスよく業務を遂行するには、単にストレngth&コンディショニングに関する知識を備えているだけでは対応できない。この授業では、これまで蓄積した知識や経験を発展させ、現場にてより有効的に活かすべく能力の育成を主たる目的とする。					
授業の一般目標					
授業進行に当たっての題材は「プロ野球」である。そして、自分自身がプロ野球のコーチとして雇用されたとの仮定に基づき、契約からシーズン終了、オフシーズンまでの1年の流れをシュミレーションにて追いかける。このなかで、実際の業務を知り、また都度起こり得る問題点に対し、適切に対処すべ方法を探る。あわせて、実際の業務でも必要となる各種報告資料も実際に作成し、それらの有効的な作成方法についても学ぶ。					
授業の到達目標					
■ 認知的領域	ストレngth&コーチとしての基礎的・基本的事項を現場に即した形で適切に説明することができる。				
■ 情意的領域	知識や能力を将来にわたって育み、ストレngth&コーチとして建設的な方向性を備えて業務を実践することができるようになる。				
■ 技能表現的領域	実際に現場で用いることのできる有用な資料及び、業務報告書を作成することができる。				
授業計画(全体)					
4日間の集中授業の中で、1日目は「知る」、2日目・3日目は「シュミレーション」、最終日に「まとめる」の段階を踏む。どの段階においても積極的な意見の発言を必要とする。現場シュミレーションにおいては、実際にコンディショニングに関する資料や、最終課題としての業務報告書を授業内にて作成する(ノート型パソコンが必要)。					
授業計画(詳細)					
回	授業テーマとその内容				
1	[テーマ] オリエンテーション [内容] 自己紹介、授業の目的と進め方、成績評価の方法等を確認する。	9	[テーマ] 現場シュミレーション V [内容] 題材・・・プロ野球「シーズン終盤」		
2	[テーマ] ストレngth&コンディショニングコーチの役割について [内容] どういった立場で、またどのように業務を遂行すべきか。基本的かつ専門的な知識を踏まえた上で、ストレngth&コンディショニングコーチの存在意義や業務内容を確認する。	10	[テーマ] 現場シュミレーション VI [内容] 題材・・・プロ野球「プレーオフ」		
3	[テーマ] ストレngth&コンディショニングコーチの抱える問題 [内容] 知識を蓄え、資格を取得したストレngth&コンディショニングコーチが、現実に直面する問題を知り、またその現実的な解決方法をディスカッションする。	11	[テーマ] 現場シュミレーション VII [内容] 題材・・・プロ野球「秋季キャンプ」		
4	[テーマ] 現場シュミレーションに関する各種準備 [内容] 翌日より行うシュミレーションに関する知識的準備や想定する状況、進行方法などを確認する。	12	[テーマ] 現場シュミレーション VIII [内容] 題材・・・プロ野球「オフシーズン」		
5	[テーマ] 現場シュミレーション I [内容] 題材・・・プロ野球「春季キャンプ」	13	[テーマ] 現場シュミレーションの復習 I [内容] 現場シュミレーション I～VIIIにおける1年を再度振り返る。		
6	[テーマ] 現場シュミレーション II [内容] 題材・・・プロ野球「プレシーズンゲーム期間」	14	[テーマ] 現場シュミレーションの復習 II [内容] シュミレーション実施前後におけるストレngth&コンディショニングコーチとしての認識の差異や今後への活用方法などを再確認する。		
7	[テーマ] 現場シュミレーション III [内容] 題材・・・プロ野球「シーズン前半」	15	[テーマ] 最終課題の作成 [内容] シュミレーションにおける1シーズンを振り返り、シーズン終了に伴う球団向け業務報告資料を作成する。		
8	[テーマ] 現場シュミレーション IV [内容] 題材・・・プロ野球「シーズン中盤」	16	[試験または課題] 球団向け業務報告資料に関するディスカッション [方法] 作成した業務報告資料において発表、意見の交換を行い、状況に応じて資料の最終修正を行う。		
授業外学習の指示等					
どのようなプロのストレngth&コンディショニングコーチになりたいか、その理想像をしっかりと描いておくこと。					
成績評価方法(方針)					
① 授業参加における積極性。出欠席だけでなく、自分自身の意見を述べる、他の意見を批評する、疑問点に対して質問するなど、授業への取り組み方を評価する。 ② 作成した資料(コンディショニング関連及び業務報告など)を評価する。					
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	・基本的には、プロのストレngth&コンディショニングコーチを目指す学生向けの授業である。 ・積極的な意見を述べられるよう、常に自分なりの考え方を準備すること。 ・プロ野球を題材にすることから、プロ野球に関する最小限の予備的知識を準備することが望ましい。 ・授業では実際に資料等をパソコンで作成する為、ノート型パソコンを準備すること(エクセル、ワードを使用)。 ・授業計画は、授業の進行状況により、多少前後することがある。
成績評価方法				評価対象外	
定期試験(期末試験)				評価対象外	
小テスト・授業内レポート	◎	○	◎	40	
授業外のレポート				評価対象外	
ポートフォリオ				20	
出席		◎		減点あり	
授業態度		◎		40	
関連科目					
教科書					
特に指定しない			参考書	特に指定しない	
連絡先					
kan_yasuhide@yahoo.co.jp					